

このニュースレターは、西郷港周辺地区の「デザイン」に関する検討状況を紹介するためのものです。

10年かけて一緒に、地区を今よりもっと魅力にあふれる楽しいまちにするための手法やプロセスを情報発信していきます。

TOPIC 01

デザインチームの紹介

デザインチームから皆さんへのメッセージ

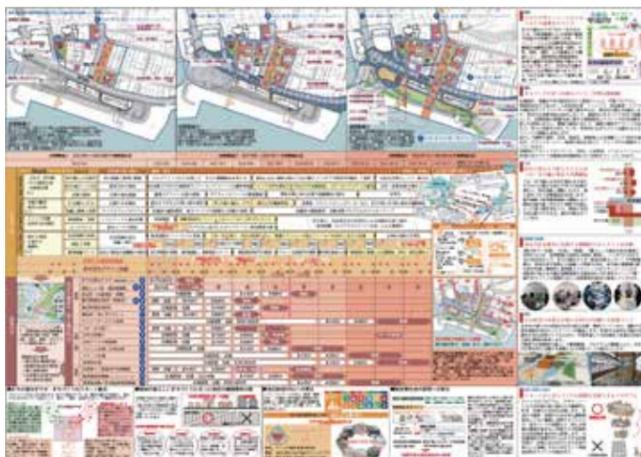
私たちは西郷港周辺地区デザインコンペで最優秀賞に選定され、皆さんと一緒にまちのデザインを考えていくチームです。

建築、土木、景観、まちづくりなど、さまざまな分野において、理論と実践を積み重ねてきたメンバーで構成されています。

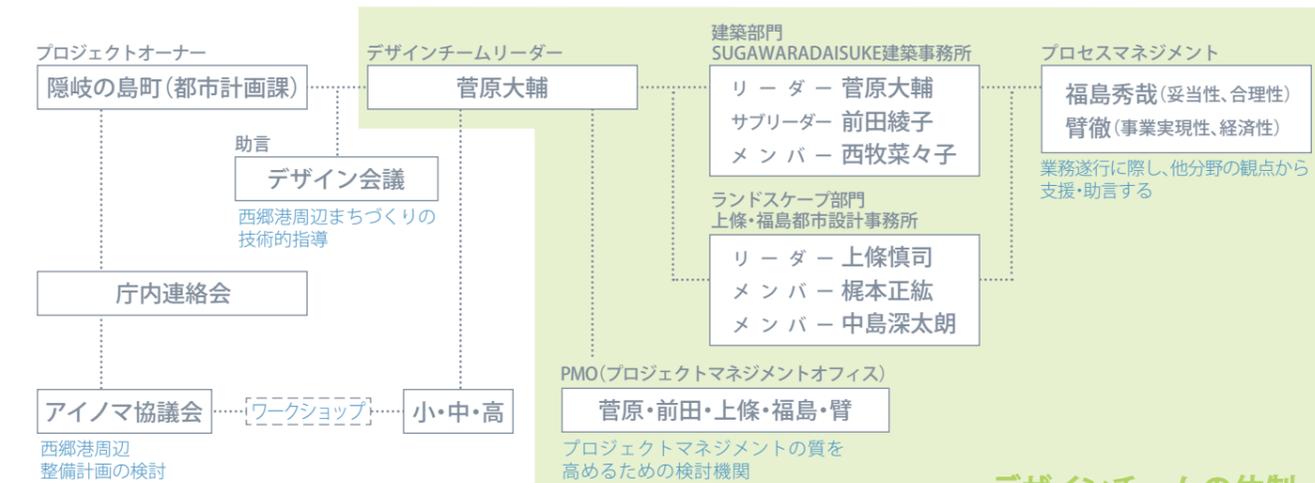
コンペの時には10年後の西郷地区を

できる限りイメージして、提案をしましたが、そのランドデザインや個別の建物などの構成要素について、皆さまからご意見を頂く場(ワークショップなど)を継続的に設け、より良いデザインを考えていきます。

これから長いお付き合いになりますが、どうか宜しくお願い致します。



▲最終審査会時点のパネル



デザインチームの体制

TOPIC 02

開催報告

西郷中学校3年生と第1回公共空間の使い方の授業を行いました。

開催日時

令和4年9月27日(火) 8:50~10:40

参加者

西郷中学校教員、西郷中学校3年生:46名

ワークショップの内容

①挨拶 / ②計画説明 / ③ワーク1「現状の過ごし方」 / ④ワーク2「未来の過ごし方」 / ⑤感想共有

新たに整備する、うみまち通り沿いの新築集合住宅の公共空間の過ごし方について意見交換しました。



▲うみまち通り沿い整備予定の公共空間



▲計画説明と議論の様子



▲中学生の発表の様子

テラススペースでの過ごし方

- バーベキュー、野外でのイベント鑑賞
- 景色を見ながらリラックス 他

庇下屋外スペースでの過ごし方

- 「友達×下校中=食べ歩き・カフェ」
- 「友達×休日=映画鑑賞」 他

庇下屋内スペースでの過ごし方

- 「友達×下校中=勉強の教え合い」
- 「家族×休日=キッズスペース」 他

普段の暮らしの様子から、屋外空間でやると面白い活動までたくさんの意見をいただきました。

次号について

(仮称)大社分院通りや(仮称)うみまち通りを議論するみちづくりWSについてご紹介します。

プロジェクトメンバーから

西郷港の水辺と船と鳥の音が好き!!



チームリーダー  
建築デザイン担当  
SUGAWARADAISUKE建築事務所  
代表取締役 菅原大輔

プロフィール 浅草生まれ。地域の特徴を活かした「まちと建築の設計」を専門とし、全国の地域拠点からルイ・ヴィトンの店舗まで、手掛けています。

町民の皆様に向けた初めてのコラムなので、まずは今回の提案を考えたときのことを振り返ってみます。隠岐の島が紡いできた魅力的な歴史や文化、それを継承した未来について考えていたある夜、「この島の未来は、島国日本の未来だ!!」と興奮したのを覚えています。その後、関わるようになって何よりも驚いたのは、大人だけでなく、未来を担う子どもたちを巻き込んだまちづくり。島の皆さんのチームワークに、「隠岐の島と日本の最先端でワクワクする未来の暮らし」があることを確信しました。これを実現すべく、僕らデザインチームは、まちの皆様と共に、着実に、確実に、未来の暮らしを創っていきたく思います。あらためて、宜しくお願い致します。

発行  
隠岐の島都市計画課

Instagram



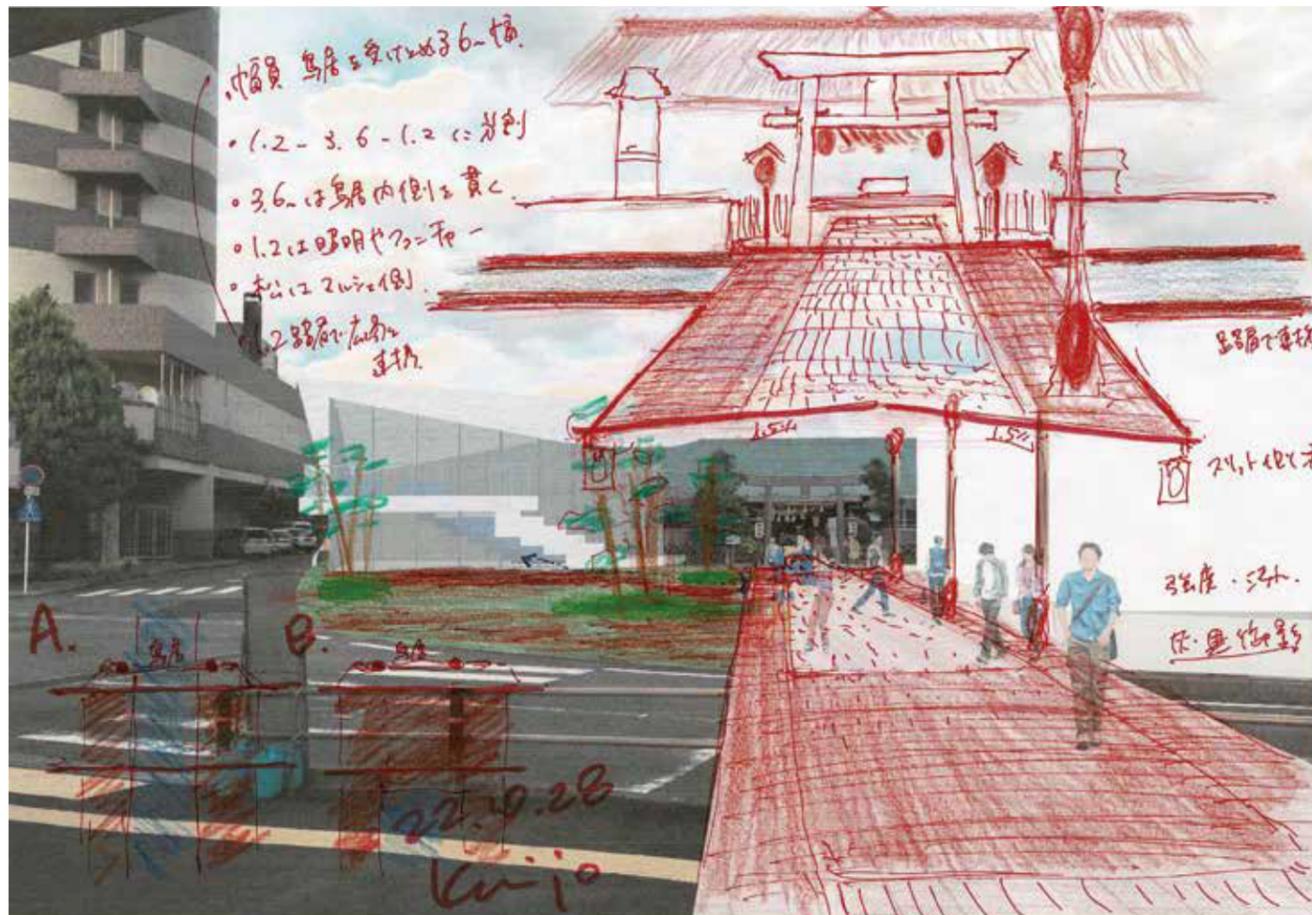
このニュースレターは、西郷港周辺地区の「デザイン」に関する検討状況を紹介するためのものです。

10年かけて一緒に、地区を今よりもっと魅力にあふれる楽しいまちにするための手法やプロセスを情報発信していきます。

TOPIC 01 アイデア

西郷港周辺地区整備事業で整備の予定となっている2本の重要な街路：(仮称)大社分院通り、(仮称)うみまち通りの整備内容について、地域の方々、出雲大社分院の関係者の皆様、学校の先生、生徒さん達とワークショップを通して意見交換しながら、検討を進めています。

第1回みちづくりワークショップでのご意見を受けて、新しい道のデザインを検討中していきます。



▲大社分院通りの検討スケッチ

みちづくりワークショップで頂いたご意見をもとに、大社分院通りの検討を進めていきます。今後はデザイン案をスケッチや模型などを作成して、わかりやすくみなさんにお伝えします。

※このニュースレターでは右のような2種類のデザイン案をお示しします。

**アイデア**・・・皆さまから頂いた意見を元に、町とチームで考えた提案です  
**決定案**・・・関係者間で協議調整を重ね、最終に取りまとめた案です

開催報告

TOPIC 02

第1回みちづくりワークショップ((仮称)大社分院通りWS)を開催しました。

開催日時

令和4年9月24日(土) 12:00-14:00

参加者

エリア会、出雲大社関係者、隠岐高校教員、生徒さん計:15名

WSの内容

①事務局挨拶/②計画説明/③「(仮称)大社分院通り」の幅を現地で確認/④意見交換

出雲大社前で、大社分院からターミナル前道路までロープを通し、計画位置を明示しました。3m、4m、6mの通り幅を検証しました。また、スカイブリッジからも確認を行い、(仮称)大社分院通りのイメージを膨らませました。



▲分院前で説明を聞く参加者の皆さん



▲スカイブリッジから幅員を確認する様子

「(仮称)大社分院通り」についての主な意見

- ・大社分院通りの幅員は6mが良いと思う
- ・道路幅が広いと見通しが良い
- ・大社通りが広いと祭りなどで活用できると思う
- ・鳥居の内側の幅(4m)が良いと思う
- ・通りに植栽がほしい
- ・町内の施設がなくなってしまうことや八雲荘がかかるため不安である

次号について

(仮称)大社分院通りのWSで頂いたご意見に基づくデザインアイデアをご提示するとともに、第2回みちづくりワークショップ((仮称)うみまち通りWS)の開催報告をします。

プロジェクトメンバーから

東町や西町に残る昔ながらの風景は、隠岐の宝物!



ランドスケープ担当  
上條・福島都市設計事務所  
代表取締役 上條 慎司

プロフィール 山梨県の小さな村の生まれ。地方都市を、町の中のデザインから変えていく外部空間の設計の専門家(都市設計家)。

ここ数年流行りのアニメの聖地巡礼。物語内の重要なシーンの舞台となったスポットを自ら訪れ、現実と空想との狭間にいる感覚を味わう、といった所でしょうか。僕は最近、新海誠作品などの著名映画しか観ていませんが、シーンの背景となるスポットはどこも美しい風景を兼ね備えていると感じます。素敵な風景は、空想の物語を生み出すきっかけになる、ともいえるかもしれませんね。これは日常の暮らしでも同じではないでしょうか。そこで過ごす時間を豊かにしてくれる、映画にも描写されそうな舞台、多くの物語が生まれる舞台を隠岐の島の中心に、皆さんと一緒につくってきたいという想いを秘めながら足を運んでいます!

発行  
隠岐の島町都市計画課

Instagram



Instagram

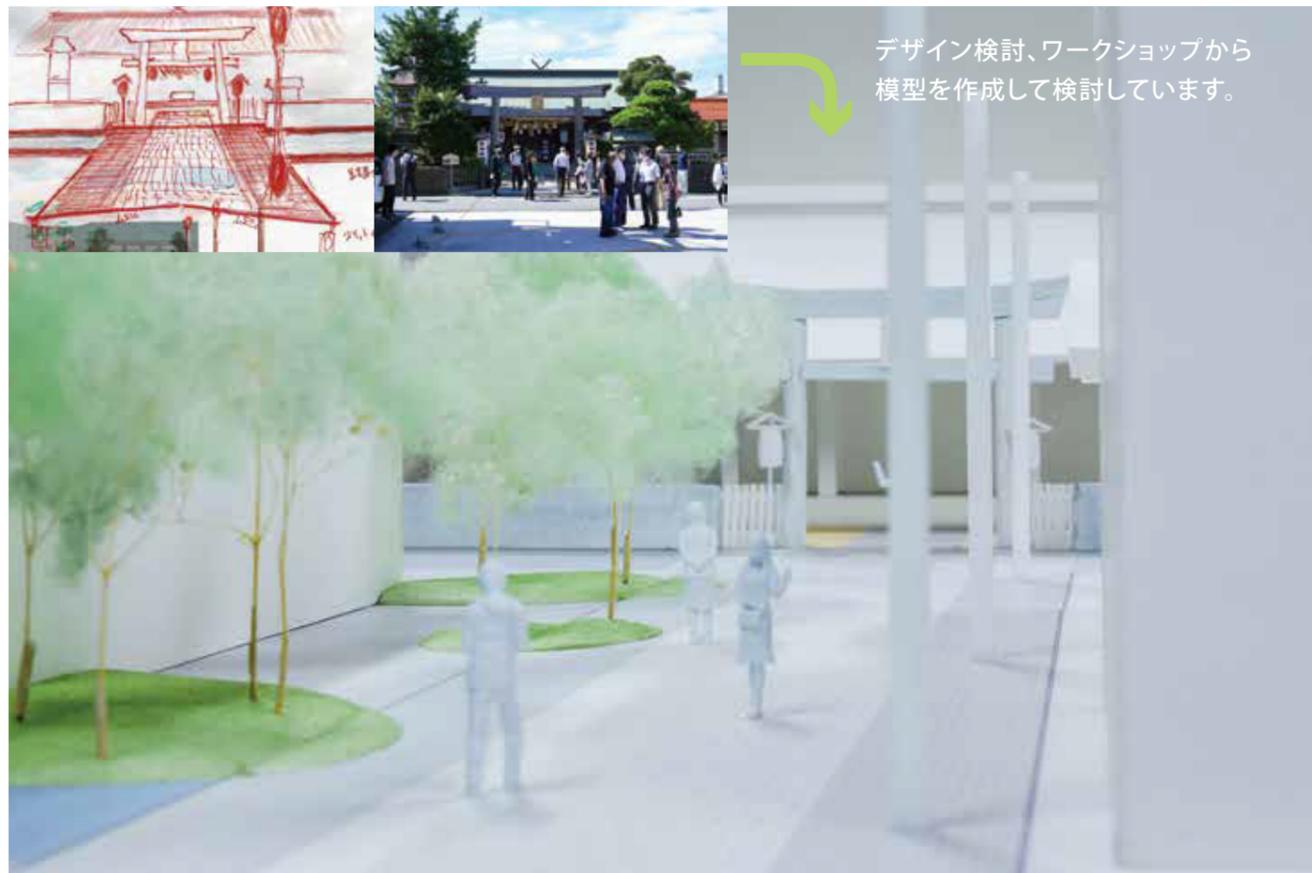
このニュースレターは、西郷港周辺地区の「デザイン」に関する検討状況を紹介するためのものです。

10年かけて一緒に、地区を今よりもっと魅力にあふれる楽しいまちにするための手法やプロセスを情報発信していきます。

西郷港周辺地区整備事業で整備の予定となっている2本の重要な街路：(仮称)大社分院通り、(仮称)うみまち通りの整備内容について、地域の方々、出雲大社分院の関係者の皆様、学校の先生、生徒さん達とワークショップを通して意見交換しながら、検討を進めています。

アイデア  
TOPIC 01

前回のワークショップでのご意見を受けて、新しい道のデザインを検討中です。



デザイン検討、ワークショップから模型を作成して検討しています。

▲大社分院通りの検討模型

9/24のワークショップで頂いたご意見をもとに、大社分院通りの検討を進めています。鳥居の外側の大きさと同じで使いやすい幅員6mとし、舗装パターン、植栽、照明などの工夫を検討しています。

※このニュースレターでは右のような2種類のデザイン案をお示しします。

**アイデア**・・・皆さまから頂いた意見を元に、町とチームで考えた提案です  
**決定案**・・・関係者間で協議調整を重ね、最終に取りまとめた案です

開催報告

TOPIC 02

第2回みちづくりワークショップ((仮称)うみまち通りWS)を開催しました。

開催日時

令和4年11月23日(水) 10:00-12:00

参加者

エリア会、出雲大社関係者、隠岐高校教員 計:13名

WSの内容

①事務局挨拶 / ②事業全体の計画説明 / ③うみまち通り計画説明と利用イメージの紹介 / ④意見交換 / ⑤大社分院通り検討内容の報告

新たに「みち広場」として整備される「(仮称)うみまち通り」の過ごし方、活用について意見交換をおこないました。また大社分院通り(仮称)の検討内容を報告し、ご意見を頂きました。



▲うみまち通りに関する意見交換の様子



▲大社分院通り検討内容の報告

「(仮称)うみまち通り」についての主な意見

- ・住民も観光客も海釣りができる場所がほしい
- ・映画をみたい / 海上花火をみる場所がほしい
- ・子供たちが帰りにぶらぶらできる場所がよい
- ・休日気安く過ごせる場所: 買い物、イベント、読書、学習、飲食、交流など / wifi環境の充実
- ・フラダンスや民謡の披露ができる場所がよい
- ・うみまち通り=全体がバスやフェリーの待合所
- ・土曜夜市を復活したい
- ・Uターンの人材との協働・支援の充実
- ・まちづくりを運営していく仕組みも検討するべき 他

次号について

次号のみちづくりワークショップは、2月頃を予定しており、その結果を踏まえて、(仮称)大社分院通り、(仮称)うみまち通りの検討案をご紹介します。

プロジェクトメンバーから

何回来て、隠岐の島に近づく時のワクワク感が好き!



ランドスケープ担当  
上條・福島都市設計事務所  
代表取締役 福島秀哉

プロフィール 岩手県出身。子供の頃は親の転勤で全国各地を転校ばかりし、今は研究・設計の二足の草鞋で全国のまちづくりに走りまわっています。

地域の風景に関する研究や、道や川や広場のデザインをしながら、全国の各地のまちづくりに携わっています。30代は地元岩手を襲った東日本大震災の復興に全力で取り組んでいました。昨年、隠岐の島のコンペの募集を見た時、これは自分がやりたい、やるべき仕事だと感じ、10年のまちづくりを島の皆さんと本当に頑張れるメンバーとともに応募しました。今は、来るたびに島の新しい魅力に触れ、島の皆さんとお話するたびに、隠岐の島の可能性にワクワクし、自分の直感を信じてよかったです。隠岐の島に来ないと見られない、世界のどこにもない、心を震わせる、暮らしの風景を島の皆さんと一緒につくっていききたいです! よろしくお祈りします!

発行  
隠岐の島町都市計画課

Instagram



Instagram